

宅地概要(第一次スクリーニング結果)									
盛土番号	②	宅地名	太陽ニュータウン		造成(許可)年代	S49～S50			
所在地住所	宮城県亶理郡山元町 浅生原地内								
盛土形式	■ 人工造成地（ ■ 谷埋め型 □ 腹付け型 ） □ 自然斜面								
盛土形状	盛土面積A	3,000m2以上	盛土幅W	不明	盛土距離d	不明	天端幅L	不明	
	盛土高さH	不明	盛土厚さD	不明	原地盤勾配α	不明			
宅地概要(第二次スクリーニング計画の作成)									
優先度評価項目			判定(記事)						
①	盛土及び擁壁の形状と構造が標準的な形状と構造に該当		☐ 非該当	■ 該当（ ）					
②	宅地地盤・擁壁・法面の変状		☐ 有	■ 無（一部、宅地擁壁に亀裂があるが軽微なもの）					
③	地下水		☐ 有 ☐ 可能性有	■ 無（ ）					
④	盛土の下不安定な層		☐ 有 ☐ 不明	■ 無（ ）					
⑤	造成年代 （基準年以前/以後）		☐ 以前	■ 後（1974（昭和49）年）					
⑥	変動確率		☐ 大	☐ 小（一次スクリーニング結果が収集できないため不明）					
【総評】	当該盛土は谷埋め盛土であり、盛土および擁壁の形状と構造は標準的なものとなる。宅地内道路の路面補修跡（写真①、③）、宅地擁壁の一部に亀裂（写真②、④）、道路面の若干の沈下傾向（写真⑩）が確認されたが、盛土全体としては安定しており、また、盛土法面等からの湧水もないことから、優先度は「B4」とした。なお、一次スクリーニング結果が収集できなかったため、変動確率は『大』として優先度評価を行っている。				想定被害形態				
					盛土のり面の不安定化によるすべり崩壊				
					優先度				
					B4				
宅地概要(第二次スクリーニング)									
【総評】									

【位置図】
全盛土造成地位置図（亶理郡山元町）
※宮城県HP「大規模盛土造成地マップについて」より： https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kentaku/daikibomorido.html
【断面図】
変動予測調査後
【工事の記録】
【点検の記録】

盛土番号	②	宅地名	太陽ニュータウン	造成許可年代	S49～S50	盛土形状	盛土面積A	3,000m2以上	盛土幅W	不明	盛土距離d	不明	天端幅L	不明
所在地住所	宮城県巨理郡山元町 浅生原地内						盛土高さH	不明	盛土厚さD	不明	原地盤勾配α	不明		
盛土形式	■ 人工造成地 (■ 谷埋め型 □ 腹付け型) □ 自然斜面					特記記事								

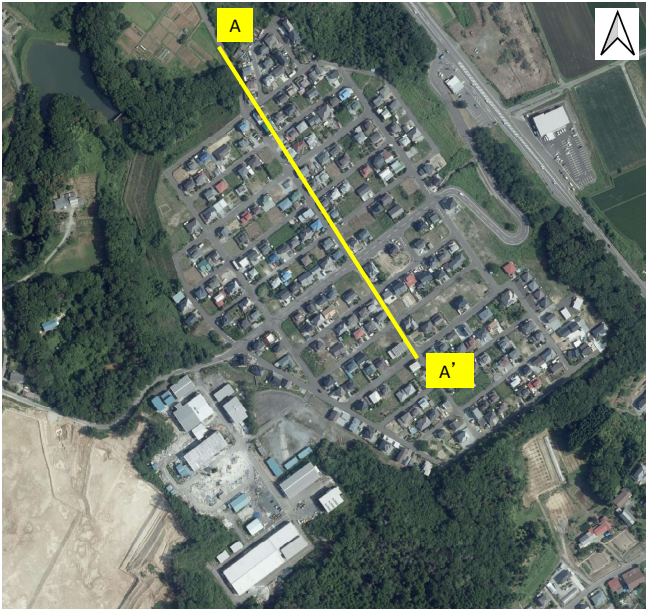
【現況写真】



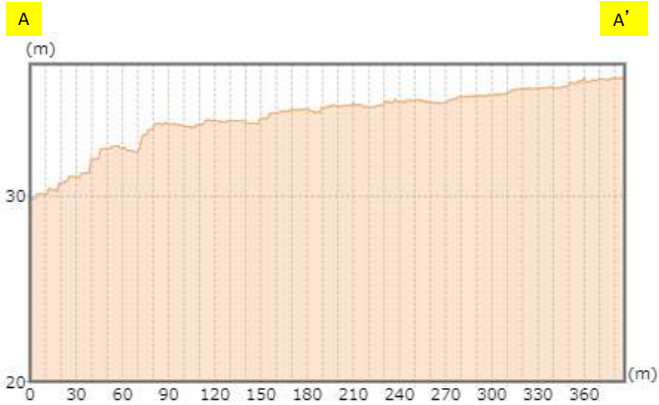
【差分図(背景：現地形図)】

第一次スクリーニング結果が収集できなかったため、図面なし

【空中写真】



【模式断面図】



※地理院地図（電子国土Web）より

様式3 (第二次スクリーニング計画の作成)

基 礎 資 料 整 理				現 地 調 査 チ ェ ッ ク リ ス ト								
チェック項目		判 定 (記事)		調査日時	天気記録	調査日	1日前	2日前	3日前	4日前	5日前	
保全対象	・住宅	■ 有 □ 無	(40)軒	2022年1月18日	降水量(mm)	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	・公共施設等	■ 有 □ 無	□ 避難所	・宅地内の平面図との相違 □ 有 ■ 無 ()								
			■ 道路・緊急輸送路 (宅地内道路)	・盛土形状の机上調査との相違 □ 有 ■ 無 ()								
			□ 河川 ()	・盛土末端部の形状 — □ 法面 ■ 擁壁 ■ すりつき (ふとんかご)								
各種指定地	・その他特記事項	—	□ 鉄道 ()	土質地質	・原地盤材料の確認	□ 有 ■ 無	□ 礫質土 □ 砂質土	□ 粘性土 □ 岩盤				
	・各種指定の有無	□ 有 ■ 無			・盛土材料の確認	□ 有 ■ 無	□ 礫質土 □ 砂質土	□ 粘性土				
			□ 宅地造成工事規制区域 □ 災害危険区域		・既往調査資料	□ 有 ■ 無	()					
			□ 人口集中地区DID		・その他特記事項	—	(土質地質を確認するための資料なし)					
その他	・その他特記事項	—	□ 土砂災害特別警戒区域 若しくは土砂災害警戒区域	擁壁と構造形状	優先度評価項目	判 定 (記 事)						
			□ 砂防指定地 □ 地すべり防止区域		①	・盛土法面勾配	□ 急 ■ 適	勾配 (1 : 1.8)				
					・小段の設置	□ 不適 ■ 適	高さ (5) m	段数 (2) 段				
					・法面保護工の設置	□ 不適 ■ 適						
【平面図】	・宅地内道路に路面補修跡あり (写真①、③)			宅地法面の変状	・ひな壇部分の傾斜	□ 急 □ 適	傾斜角 () °	■ ひな壇なし				
	・宅地擁壁の一部に亀裂あり (写真②、④)				・擁壁構造の適格性	□ 不適 ■ 適	□ 鉄筋コンクリー □ 無筋コンクリー	■ ブロック積 □ その他 (擁壁なし)	高さ (2) m	壁面勾配 (1 : 0.5)		
	・道路面の若干の沈下傾向 (写真⑩)				・その他特記事項	—	()					
					②	宅地地盤 ・亀裂・沈下・隆起	■ 有 □ 無	(盛土境界部に若干の沈下傾向あり (写真⑩))				
					擁壁	・擁壁とその基礎の変状	■ 有 □ 無	(一部、亀裂あり (写真②、④))				
						・擁壁背面の変状	□ 有 ■ 無	()				
						・擁壁の補修履歴	□ 有 ■ 無	()				
						盛土法面	・ガリ浸食跡	□ 有 ■ 無	()			
							・表面の不陸または凹凸	□ 有 ■ 無	()			
					その他	・亀裂	□ 有 ■ 無	()				
			・排水工の変状	□ 有 ■ 無		()						
			・災害痕跡	□ 有 ■ 無		()						
				・根曲がり	□ 有 ■ 無	()						
				・道路の変状	■ 有 □ 無	(宅地内道路に路面補修跡あり (写真①、③))						
				・その他特記事項	—	()						
地下水				地下 水	③	・盛土法面からの湧水	□ 有 □ 可能性有 ■ 無	()				
					・擁壁水抜き孔からの恒常的な出水	□ 有 □ 可能性有 ■ 無	()					
					・ひな壇部分の擁壁前面部の出水	□ 有 □ 可能性有 ■ 無	()					
					・排水工や擁壁の恒常的な湿り	□ 有 □ 可能性有 ■ 無	()					
					・盛土法尻排水工の水没	□ 有 ■ 可能性有 □ 無	(写真⑬)					
					・排水工の目地・亀裂からの地下浸水	□ 有 ■ 無	()					
					・盛土法尻のため池等の満水水位	□ 有 ■ 無	()					
					・既存井戸水位	□ 有 ■ 無	()					
					・盛土法尻の調整池・ため池	■ 有 □ 無	()					
					・集水地形上の盛土	■ 可能性有 □ 無	()					
					・盛土上ガレージの湿り	□ 可能性有 ■ 無	()					
					・水を好む植生の有無	□ 可能性有 ■ 無	()					
					・その他特記事項	—	()					
					盛土下の土層状態	④	・盛土周辺の崖錐、崩積土	□ 有 ■ 無 □ 不明				
			・盛土周辺の沖積粘性土	□ 有 ■ 無 □ 不明								
			・盛土周辺の沖積飽和砂質土	□ 有 ■ 無 □ 不明								
			・その他特記事項	—		()						
【総評】	当該盛土は谷埋め盛土であり、盛土および擁壁の形状と構造は標準的なものとなる。宅地内道路の路面補修跡 (写真①、③)、宅地擁壁の一部に亀裂 (写真②、④)、道路面の若干の沈下傾向 (写真⑩) が確認されたが、盛土全体としては安定しており、また、盛土法面等からの湧水もないことから、優先度は「B4」とした。なお、一次スクリーニング結果が収集できなかったため、変動確率は『大』として優先度評価を行っている。				被害形態		盛土のり面の不安定化によるすべり崩壊					
					優先度							
					B4							

※写真内に示す黒板記載番号(例: ②-4など)は現地踏査時における整理番号



写真① 盛土上端部(道路の亀裂補修跡)



写真② 盛土上端部(ブロック積擁壁、Co擁壁の亀裂)



写真③ 盛土上端部(道路の亀裂補修跡)



写真④ 盛土上端部(Co擁壁の亀裂)



写真⑤ 盛土上端部(雨水枡の損傷)



写真⑥ 盛土上端部(道路状況)



写真⑦ 盛土上端部(法面状況)



写真⑧ 盛土上端部(法面保護工: ネット)



写真⑨ 盛土中間部(小段排水溝)



写真⑩ 盛土中間部(法面保護工: ネット)



写真⑪ 盛土中間部



写真⑫ 盛土下端部(ふとんかご)



写真⑬ 盛土下端部(排水工の水没の可能性)



写真⑭ 盛土下端部(排水溝出口及び擁壁)



写真⑮ 盛土下端部(ブロック積擁壁)



写真⑯ 盛土上端部(道路面の沈下傾向)